

## 第30回シンポジウム「高齢社会を共に生きる」の実践報告要旨

### 「認知症でも大丈夫!自分力とお助け力が広くつながるまちづくり」

大阪府東大阪市・社会福祉法人 由寿会 理事長 ゆい なおこ 由井 直子

「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に向けて、全住民が自分力とお助け力で認知症の人を支えるまちを目指した。また、多職種が連携して当事者の情報を共有し地域で見守るチーム作りをコーディネートするなど、地域に関わる全ての人々と手を携えて、ネットワークの網の目を細かくし、点を面にしていく活動を実践している。

### 「認知症の人と共に生きるまちづくり」

熊本県熊本市・社会福祉法人 寿量会 理事長 よねみつ よしえ 米満 淑恵

熊本市天明地区における認知症のご本人やご家族を地域で支える為に、人材養成・居場所づくり・啓発を柱とし認知症カフェを設置してきた。活動を通し認知症サポーターの意識変革や地域ボランティア・学生ボランティアによる支援組織、また地域団体間の情報共有を行い、地域住民と共に支え合う体制づくりのコーディネートを実践している。

### 「認知症を予防する地域ボランティアの養成事業」

兵庫県西宮市・NPO法人 認知症予防サポートネット 理事長 ふくだ あきら 福田 章

高齢社会の進展とともに認知症者の方が増え続けている。認知症は長い年月を経て発症するため、認知症予備軍は潜在した状態にあり、認知症予防は、社会的課題である。

そこで当法人は「認知症予防に熱心なまちづくり」を目指して、大阪市住吉区で地域に密着した活動を実践する「認知症予防地域ボランティア」を養成する活動を実践している。

### 「時空を超える地域プロジェクト—若年認知症者と共に大和橋再生へ—」

奈良県奈良市・一般社団法人 SPS 若年認知症サポートセンターきずなや

ゼネラルマネージャー わかの たつや 若野 達也

高齢化し、活力を失いつつある地域を活性化させるため、地域の特性を活かした歴史ある大和橋の再生と観光地の復興を、若年性認知症の人達と地域住民が手を取り合って取り組む活動を実践している。活動を通じ、若年性認知症の理解を深め、居場所づくりの推進につながり、さらに多業種連携により、認知症の人を中心とした地域おこしの芽もでてきた。